

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1	ブラームスのドイツレクイエム												聖路加国際病院礼拝堂聖歌隊 川津泰人 改定H21.10.1(原案H3.10.1)
2													
3	<p>背景 Requiemは死んだ人の霊をま、鎮め、慰め、死者に永遠の安息を与えることを神に祈る音楽。死者に直接働きかけるものでなく、鎮魂歌、鎮魂ミサは不適当な名称</p> <p>DeutschesRequiemは死者の永遠の安息を願う部分もあるが、むしろ死によって後に残った悲しめる人に呼びかけてその人たちに慰めを与えようとする音楽/人を安心させる肯定的な集団のための子守唄という評価もあり。即ち、ドイツレクイエムは避けられない死を受け止め、むしろ、今を如何に良く生きるかについて考え、人として正しく生きることに目を向けようとするいわば-生者の為のレクイエムと言われる</p> <p>発音は原則そのまま読めばよいが、英語と違うもの、読まないものなどあり、又、ドイツ語には合成語が多くその場合原語が生きていることもある。一般的な読み方の注意点は下記の注に記したが、やはりネイティブな発音をCDなどから合唱を通じて(日常会話の発音と歌う場合とは違う場合があります)学ぶことをお勧めいたします。できるだけ近い発音をポイントになる歌詞には付けましたのでご参考にして下さい。</p> <p>1868年4月10日ブレーメン聖ペトロ大聖堂でブラームス指揮による初演・ドイツ語を付けたのはナショナリズムの表明又はルター派の表明 歌詞はマルチンルターが約した1537年版の新約と旧約の聖書及び旧約続篇からブラームスが選り出したもの、この意味で1570年にピウス5世教皇が制定したラテン語の歌詞よりも古く、又、他の多くのレクイエムが典礼文から引用しているのと異なる</p>												
4	<p>参考文献 ブラームスー音楽之友社作曲家別名曲解説ライブラリー、聖書思想事典(三省堂)、辞書-マイスター独和辞典(大修館書店)、現代和独辞典(三修社)ドイツ語の最初歩(大岩新太郎著・三修社)歌うドイツ語ハンドブック(三ヶ尻正著・シヨパン)</p> <p>三ヶ尻棟(歌うドイツ語ハンドブック著者)のアドバイス感謝いたします。その他、ご意見、間違い、何かアドバイスあればmondmusicale2006-hp@yahoo.co.jpへメールしていただければ幸いです。</p>												
10	I	世の悲しさを歌いそして悲しむ者はやがて慰められ涙する者は報いられるという作品全体の根本思想を歌い上げる(Introtus入祭唱にあたる)	Ziemlich	langsam	und(ウン)	mit(ミット)	Ausdruck						歌詞対訳-口語訳聖書による
11			かなり	ゆっくり	そして	ともに	表現						
12		マタイによる福音書5-4(悲しむ人がいつか慰められる日の到来を望む序曲)	Selig(ズイーリヒ)	sind(ズィント)	die(デイ)	da(ダ)	Leid(ライト)	tragen(トラーゲン)				悲しんでいる人たちは幸いである	
13		天の至福に預かる	である	この・その人たち(who)	そこに、その時(there,then)	悲しみ	運ぶ、負う						
14		denn(デン)	sie(ズイ)	sollen(ゾッレン)	getröstet(ゲトリューステット)	werden(ヴェルデン)						彼らは慰められるであろうから	
15		なぜかという	彼らは	はずである	慰められる	なる、だろう	trostenの受身形						
16		詩篇126-5	Die(ダイ)テイ	mit(ミット)	Tränen(トラーネン)	säen,(ゼーエン)						涙を持って種蒔く者は、	
17		この・あの・その人たち	共にwith	涙trane	種をまく								
18		werden(ヴェルデン)	mit(ミット)	Freuden(フロイデン)	ernten(エルンテン)						喜びの声を持って刈り取る		
19		なる、だろう	共にwith	喜び	収穫する								
20		詩篇126-6	Sie(ズイ)	gehen(ゲイエン)	hin(ヒン)	und(ウン)	weinen(ヴァイネン)						出て行く者は、涙を流して
21		彼ら=人々は	行く	の方へ	そして	泣く							
22		und(ウン)	tragen(トラーゲン)	edlen(イドレン)	Samen(ザーメン)						種を携え、		
23		そして	運ぶ	美しい、貴重な	種	edelの付加法的用法							
24		und(ウン)	kommen(コメン)	mit(ミット)	Freuden(フロイデン)						喜びの声をあげて帰ってくる		
25		そして	来る	共にwith	喜び								
26		und(ウン)	bringen(ブリンゲン)	ihre(イーレ)	Garben(ガルベン)						束を携え、		
27		そして	持ってくる	貴方の	(穀物の)束garbe								
28	II	人間のはかなさへの嘆きとキリストへの帰依による救いを歌う葬送行進曲	Langsam,	marschmassig									
29			ゆっくり	行進風に									
30		ペテロの第一の手紙1-24	Denn(デン)	alles(アルス)	Fleisch(フライシュ)	es(エス)	ist(イスト)	wie(ワイ)	Gras(グラス)				人はみな草のごとく
31		そう言うわけで	全ての	人間、肉	それ(英=it)	である	ような	草					
32		und(ウン)	alle(アル)	Herrlichkeit(ヘリッヒカイト)	des(デス)	Menschen(マンシェン)						その栄華はみな	
33		そして	全ての	すばらしさ	定冠詞the	人間mensch							
34		wie(ワイ)	des(デス)	Grases(グラース)	Blumen(ブルーメン)						草の花に似ている。		
35		ような	定冠詞the	草gras	花blume								
36		Das(ダス)	Gras(グラス)	ist(イスト)	verdorret(ヴェルドーレット)						草は枯れ、		
37		その、この、あの	草gras	である	干からびて枯れるverdorren	現在完了形							
38		und(ウン)	die(デイ)	Blume(ブルーメ)	abgefallen(アブゲファールン)						花は散る		
39		そして	定冠詞the	花blume	落ちるfallen	過分	現在完了形	ab+過去分詞一離れて					
40													

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	
41	II ヤコブの手紙5-7	So(ソ)	seid(ザイ)	nun(ヌン)	geduldig(ゲトウリツイク)	lieben(リーヘン)	Brüder.(ブリューデール)					だから兄弟たちよ、耐え忍びなさい	
42		それ故	be 二人称複数	やはり、今や	忍耐すよい	愛する～形容詞	兄弟						
43		bis(ビス)	auf(アウフ)	die(ディ)	Zukunft(ツウクフツ)	des(デス)	Herrn(ヘルン)						主の来臨の時まで
44		まで(bis aufまで含め	に、予定で	定冠詞the	未来、将来	定冠詞the	主						
45		Siehe(サイエ)	ein(アイン)	Ackermann(アケルマ、wartet(ヴァルト)									見よ、農夫は、待っている、
46		見よ	不定冠詞	農夫acker畑	待っている								
47		auf(アウフ)	die(ディ)	köstliche(キョストリッヘ)	Frucht(フルフト)	der(デアール)	Erde(エルデ)						地の尊い実りを
48		に、予定で	定冠詞the	すばらしい	果実、穀物	定冠詞der-the	大地、地球、世界						
49		und(ウント)	ist(イスト)	geduldig(ゲツルディク)	darüber(ダリューベル)	bis(ビス)	er(エル)	empfahe(エンファエ)					耐え忍んで
50		そして	である	忍耐すよい	その上に	まで	それ、彼	empfangen受け取る					
51		den(デイン)	Morgenregen(モルゲンリーゲン)	und(ウント)	Abendregen(アーヘントリーゲン)								前の雨と後の雨とがあるまで、 (別訳一秋の雨と春の雨)
52		定冠詞der-the	朝の雨(regen)	そして	夕の雨								
53	ベテロの第一の手紙1-24	Denn(デン)	alles(アレス)	Fleisch(フライシュ)	ist(イスト)	wie(ワイ)	Gras(グラス)					人はみな草のごとく	
54		そう言うわけで	全ての	人間、肉	である	ような	草						
55		und(ウント)	alle(アル)	Herrlichkeit(ヘルリッヒ)	des(デス)	Menschen(メンシェン)							その栄華はみな
56		そして	全ての	すばらしさ	定冠詞the	人間Mensch							
57		wie(ワイ)	des(デス)	Grases(グラセス)	Blumen(ブルーメン)	n							草の花に似ている
58		ような	定冠詞the	草gras	花blume								
59		Das(ダス)	Gras(グラス)	ist(イスト)	verdorret(フェルトレット)								草は枯れ、
60		その、この、あの	草gras	である	干からびて枯れるverdorren								
61		und(ウント)	die(ディ)	Blume(ブルーメ)	abgefallen(アプゲファールン)								花は散る
62		そして	定冠詞the	花blume	落ちるfallen過分								
63		Aber(アーベル)	des(デス)	Herrn(ヘルン)	Wort(ヴォルト)(ヴォルト)								しかし、主の言葉は、
64		しかし	定冠詞the	主	言葉、発言								
65	Bleibet(ブライヘット)	in(イン)	Ewigkeit(イーウイヒカイト)									永久に残る	
66	残る、留まる、あり続	の中に	永遠の世界	ewig永久の									
67	イザヤ書35-10	Die(ディ)	Erlöseten(エルローゼテン)	des(デス)	Herrn(ヘルン)							主にあがなわれた者は	
68		関係代名詞who	救い出された	定冠詞the	主	erlosen解放する							
69		werden(ヴェルデン)	wiederkommen(ワイアーカムメン)										帰ってきて
70		なる、だろう	帰ってくるwieder又、再びkommen来る										
71		und(ウント)	gen(ゲン)	Zion(ツイオン)	kommen(コメン)	mit(ミット)	Jauchzen(ヤオホツェン)						歌を歌いつつ、シオンに来る
72		そして	に向かって(古)	シオン	来る	と共に	歓声をあげること、歓呼すること						
73		ewige(イーウイゲ)	Freude(フロイテ)	wird(ヴィルト)	über(ユーベル)	ihrem(イレーム)	Haupte(ハオプテ)	sein(ザイン)					その頭に、永久の喜びをいただき
74		永遠の、とても長い	喜び	なる(三単現)だろう	の上に	彼らの	頭、首領	ある					
75		Freude(フロイテ)	und(ウント)	Wonne(ヴォンネ)	werden(ヴェルデン)	sie(サイ)	ergreifen(エルグライフェン)						彼らは楽しみと喜びとを得、
76		喜び	そして	なる、だろう	彼らは、彼は	つかむ、握る							
77		und(ウント)	Schmerz(シュメルツ)	und(ウント)	Seufzen(ゾイフツェン)	wird(ヴィルト)	weg(ヴェク)	müssen(ミッセン)					悲しみと嘆きとは逃げ去る
78		そして	苦痛、心痛	そして	溜息をつく	なる、だろう	離れて、どいて	に違いないSeufzerため息					
79	III 人間の無情と焦燥に対する回答として、神への信仰を歌う	Andante moderato		悲哀と憂愁の底からつ混迷の世をあまねく照らす光明を求め									
80				そして、私の望みは貴方にあるという不動の信念に到る									
81	詩篇39-5	Herr(ヘル)	lehre(リーレ)	doch(ドツフ)	mich(ミツヒ)							主よ、知らせてください	
82		主	教えてください、はっきり承す	ぜひ、どうか	私に								
83		daß(ダス)	ein(アイン)	Ende(エンデ)	mit(ミット)	mir(ミール)	haben(ハーヘン)	muß.(ムス)					我が終わりと、我が日の数のどれほどであるかを
84		関係代名詞that=da	不定冠詞	終わり	と共に、関して	私に	持つ	に違いない					
85		und(ウント)	mein(マイン)	Leben(リーベン)	ein(アイン)	Ziel(ツイール)	hat.(ハット)						私に知らせ、我が命のいかに
86		そして	私の	生命、人生	不定冠詞	目的、支払期限	持つ						
87		und(ウント)	ich(イツヒ)	davon(ダーフォン)	muß.(ムス)								はかないかを、悟るように
88		そして	私は	それについて	に違いない、しなければならない								

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
89	III 詩篇39-5	Siehe(スィーエ)	meine(マイネ)	Tage(ターゲ)	sind(サイント)	einer(アイネル)	Hand(ハント)	breit(ブライト)		見よ、あなたは私の目を		
90		見よsehenの命令形	私の	日	である	不定冠詞	手	幅の広い、冗長な		見よ、私の日は貴方の前では手の幅のほど物		
91		vor(フォール)	dir(ディール)							つかの間とされました。		
92		前に・で	君(duの三格)									
93		und(ウント)	mein(マイン)	Leben(リーベン)	ist(イスト)	wie(ワイ)	nichts(ニヒツ)	vor(フォール)	dir(ディール)	私の一生はあなたの前では無に等しいです。		
94		そして	私の	生命、人生	である	ような		前に・で	君(duの三格)			
95	詩篇39-6/7	Ach(アー)	wie(ワイ)	gar(ガル)	nichts(ニヒツ)	sind(サイント)	alle(アル)	Menschen(メンシェン)		ああ、全て人は空しいもの		
96		ああ	ような	全く(否定の強め)	=nothing 代名詞	である	全ての	人間				
97		die(ディ)	doch(ドツフ)	so(ゾー)	sicher(スィーヘル)	leben(リーベン)				確かに立っているようでも		
98		これら、その人たち	しかし・それなのに	非常に・それ程	安全な・確実な	生きている						
99		Sie(スィ)	gehen(ゲイエン)(ゲー)	daher(ダヘル)	wie(ワイ)	ein(アイン)	Schemen(シェマン)			真に彼らは影のようにさまよいます		
100		彼らは	行く	そこから	ような	不定冠詞	影・亡霊					
101		und(ウント)	machen(マッヘン)	ihnen(イーネン)	viele(ヴィール)	Unruhe(ウンルーエ)				むなしいことのために騒ぎまわるのです。		
102		そして	する	彼らに・それらに	沢山の・多数の	むなしい	喧騒・不安					
103		sie(スィ)	sammeln(ザツマルン)	und(ウント)	wissen(ヴィッセン)	nicht(ニヒト)				彼は積み蓄えるけれども、知りません。		
104		彼は	集める・まる	そして	知っている	でない						
105		wer(ヴェール)	es(エス)	kriegen(クリーゲン)	wird(ヴィルト)					誰がそれを収めるのかを		
106		誰が	それは・関係代名詞	貰う・受取る	なる(三単現)だろう							
107		Nun(ヌン)	Herr(ヘル)	wes(ヴェス)	soll(ゾル)	ich(イツ)	mich(ミッヒ)	trösten(トリュステン)		主よ、今私は何を待ち望みましょう		
108		今や	主	誰(werの二格古)	はずである	私は	私に	慰める、元気を出す(sich		t.)		
109		Ich(イツ)	hoffe(ホッフエ)	auf(アウフ)	dich(ディッヒ)					私の望みはあなたにあります。		
110		私は	望む	に	あなた							
111	旧約続編：ソロモンの	Der(ディール)	Gerechten(ゲレヒテン)	Seelen(スィールン)	sind(サイント)	in(イン)	Gottes(ゴッテス)	Hand(ハント)		正しい者の魂は神のみ手にあって、		
112	知恵3-1	定冠詞	公平な正しき	魂・人seele	である	の中に	神の	手		(神によって守られ)		
113		und(ウント)	keine(カイン)	Qual(クヴァール)	rühret(リュールト)	sie(スィ)	an(アン)			いかなる責苦も彼らに届くことは無い		
114		そして	いかなる～ない	苦痛・心痛kval	かき回す動かす	それ	に対して/anrühren=混ぜる、触れる					
115	IV 魂の安息の地を求め	Massig	bewegt	天国的な安らかさを示す								
116	憧れ、そこに達する人の	ほどほどの	激動の、感動に震える									
117	喜びと幸福を歌う											
118	詩篇84-1/2	Wie(ワイ)	lieblich(リープリッヒ)	sind(サイント)	deine(ダイネ)	Wohnungen(ウオーヌンゲン)				あなたの住まいはいかに麗しい事でしょう		
119		いかにhowようなas	愛らしい快い	である	あなたの	住まい						
120		Herr(ヘル)	Zebaoth(ツェーハオット)							万軍の主よ		
121		主	万軍									
122		Meine(マイネ)	Seele(スィール)	verlangt(ヴェルランゲ)	und(ウント)					我が魂は絶え入るばかりに		
123		私の	魂・人seele	求めるverlangen	そして							
124		sehnet(スィネット)	sich(スィッヒ)	nach(ナッハ)	den(デン)	Vorhöfen(ヴォルフューフェン)	des(デス)	Herrn(ヘルン)		主の大庭を慕い		
125		憧れるsehen	sehnen sich nach	切望する	he-towardsの後after	定冠詞the	前庭・心扉	定冠詞the	主			
126		mein(マイン)	Leib(ライフ)	und(ウント)	Seele(スィール)	freuen(フロイエン)	sich(スィッヒ)			我が心とわが身は、喜び歌います。		
127		私の	身体	そして	魂・人seele	喜ぶfreuen+sich	再起動詞					
128		in(イン)	dem(デーム)(タイム)	lebendigen(リーベンジ)	Gott(ゴット)					生ける神に向かって		
129		に	定冠詞the	生きている	神							
130	詩篇84-4	Wohl(ヴォール)	denen(デーネン)	die(ディ)	in(イン)	deinem(ダイネム)	Hause(ハウゼ)	wohnen(ウオーネン)		幸いです.. あなたの家に住み、		
131		幸いなるかな、恐らく=well	その人たちにder複3格	関係代名詞who	に	あなたの	家	住む				
132		die(ディ)	loben(ローヘン)	dich(ディッヒ)	immerdar(イムメルダール)					常にあなたを褒め称える人は		
133		関係代名詞who	誉める	貴方を	常に=immer							

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
133	V 悲しめる者は慰められることを歌う	Langsam ゆっくりとした			母のことが歌われていること及び母性愛的なやさしさが現れていることは							
134					ブラームスの母の死との関連との説							
135	ヨハネによる福音書16-22	Ihr(イール) あなた方	habt(ハフト) 持つ	nun(ヌン) やはり、今や	Traurigkeit(トラウリグハイト) 悲しみ悲しい事					このように、あなた方にも今は不安がある。		
136		aber(アーベル) 私は	ich(イッヒ) 私は	will(ウィル) 私は	euch(オイヒ) 君たちに	wiederssehen(ワイデーデルスイーエン) 再会する		wieder(ワイデー) 再び	sehen(ゼーエン) 見る	しかし、私は再びあなた方と会うであろう。		
137		und(ウント) そして	euer(オイール) 君たちの=eure	Herz 心	soll(ゾル) はずである	sich(ズイッヒ) 喜ぶfreient sich	freuen, 喜ぶ			そして、あなた方の心は喜びに満たされるであろう。		
138		und(ウント) そして	eure(オイール) 君たちの	Freude(フロイデー) 喜び	soll(ゾル) はずである	niemand(ニーマント) 誰も~ない=nobody				その喜びをあなた方から		
139		von(フォン) の前に	euch(オイヒ) 君たちに	nehmen(ニーメン) とる=take						取り去る者はいない		
140		Sehet(スイーヒト) 見よ	mich(ミッヒ) 私の	an(アン) に対してansehen 眺める、見る						目を持って見よ		
141	旧約続編:ベンシラの知恵51-27	ich(イッヒ) 私は	habe(ハーベ) 完了の助動詞	eine(アイネ) 少ない、小さい	kleine(クライネ) 時間・時代=time	Zeit(ツァイト)				いかに私が少なく		
142		Mühe(ミュエ) 苦労=pains	und(ウント) そして	Arbeit(アルハイト) 苦労、仕事	gehabt(ゲハフト) 持たれるhabenの過去分詞					労して		
143		und(ウント) そして	habe(ハーベ) 持つ	großen(グローゼン) 多くの大きな	Trost(トロスト) 慰め	funden(フンデン) 多くの大きな	finden(フインデン) 見つける・得る	finden(フインデン) 見つける・得る	gefunden(ゲフンデン) 欠落	多くの休みを得たかを		
144		ich(イッヒ) 私は	will(ウィル) 私は	euch(オイヒ) 君たちを	trösten(トロステン) 慰める					私もあなた方を慰める		
145		wie(ワイ) ような	einen(アイネン) 不定冠詞	seine(ザイネ) 彼の、その	Mutter(ムッター) 母	tröstet(トロステト) 慰める				母のその子を慰めるように		
146		Christus(クリストス) キリストの復活を通じての死に対する生の勝利を歌う	Andante		永遠の生命の獲得から生と死との一性化をもたらしている事を表している							
147					ラテン語レクイエムのDies Iraeに相当但し恐怖の告知ではなく、恐怖を取り除かれた復活の告知							
148		heute(ヘーテ) 今日	wir(ウィル) 我々	haben(ハーベン) 持つ=have	hie(ヒエ) そこここに	keine(カイン) 何も~ない	bleibende(ブライベンデ) 永続する	Statt(シュタット) 場所		この地上には永遠の都は無い。		
149		sondern(ゾンデルン) ではなくて	die(ダイ) 定冠詞the	zukünftige(ツクニフトイゲ) 未来の、未来の妻	suchen(ズーヘン) 探す=seek					来たらんとする都こそ、私たちの求めているものであ		
150		Siehe(スイーエ) 見よ	ich(イッヒ) 私は	sage(サーゲ) 言う=say	euch(オイヒ) 君たちに	ein(アイン) 不定冠詞	Geheimnis(ゲハイムニス) 秘密=secret			ここで、あなた方に奥義を告げよう。		
151	コリント人への第一の紙15-51/55(バリトンソ)	Wir(ウィル) 我々は	werden(ヴェルデン) なる、だろう	nicht(ニヒト) でない	alle(アルレ) 全て	entschlafen(エンシュラーフェン) 眠り込む				私たち全ては、眠りつづけるのではない。		
152		wir(ウィル) 我々は	werden(ヴェルデン) なる、だろう	aber(アーベル) しかし	alle(アルレ) 全て	verwandelt(ヴェルヴァンデト) 変える変わる	werden(ヴェルデン) 受動態のwerden			一瞬にして変えられる。		
153		und(ウント) そして	dasselbige(ダッセルビゲ) 同じ=derselbige	plötzlich(プリュツツァイヒ) 突然の	in(イン) 不定冠詞	einem(アイネム) 瞬間	Augenblick(アウゲンブリック) 瞬間			瞬間に		
154		zu(ツウ) に向かって、に対して	der(デーエル) 定冠詞the	Zeit(ツァイト) 時間・時代=time	der(デーエル) 定冠詞the	letzten(レツテン) 最後のlast	Posaune(ポサオネ) 天使のラッパ			終わりのラッパの響きと共に、		
155		Denn(デン) そう言うわけで	es(エス) 定冠詞the	wird(ウィルト) なる(三単現)だろう	die(ダイ) 定冠詞the	Posaune(ポサオネ) 天使のラッパ	schallen(シュアルレン) 響き渡る			というのは、ラッパが響いて、		
156		und(ウント) そして	die(ダイ) 定冠詞the	Toten(トエテン) 死人tote	werden(ヴェルデン) なる、だろう	aufstehen(アウフシュテヘン) 復活する	unverweslich(ウンヴェレスリヒ) 腐朽しない			死人は朽ちない者によみがえらされ		
157		und(ウント) そして	wir(ウィル) 我々は	werden(ヴェルデン) なる、だろう	verwandelt(ヴェルヴァンデト) 変える変わる	werden(ヴェルデン) 受動態のwerden				私たちは変えられるのである。		
158		Dann(ダン) そのとき	then(ゼン) なる(三単現)だろう	erfüllt(エルフルレト) 実現する、満たす	werden(ヴェルデン) 受動態のwerden	das(ダス) 定冠詞the	Wort(ヴォルト) 主語「言葉が」			そのとき、言葉が成就するのである。		
159		das(ダス) 定冠詞the	geschrieben(ゲシュリバーヘン) 書かれたschreiben	ist(イスト) 状態にある、準備ができて						その言葉は聖書に書いてある		
160		Der(デーエル) 定冠詞the	Tod(トット) 死	ist(イスト) である	verschlungen(ヴェルシュルンゲ) 飲み込まれた、結び合わ	den(デーエン) 定冠詞the	Sieg(ズイーク) 勝利			死は勝利に呑み込まれてしまった。		
161		Tod(トット) 死	wo(ヴォー) どこにwhere	ist(イスト) である	dein(ダイン) おまえの	Stachel(シュタッヘル) 刺				死よ、おまえの刺はどこにあるのか		
162		Hölle(フアルレ) 地獄の悪魔	wo(ヴォー) どこにwhere	ist(イスト) である	dein(ダイン) おまえの	Sieg(ズイーク) 勝利				死よ、おまえの勝利はどこにあるのか。		
163												
164												
165												
166												
167												
168												
169												
170												
171												
172												
173												
174												
175												
176												
177												
178												
179												
180												
181												
182												
183												
184												
185												
186												
187												
188												

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
189	VI ヨハネの黙示録4ー1	Herr(ヘル)	du(ドゥ)	bist(ビスト)	würdig(ヴュルディッヒ)	zu(ツウ)	nehmen(ネーメン)					われらの主なる神よ、あなたこそは、受けるに相応しい
190	1	主	君	である	相応しい	に向かって、に対してto	とる=take					
191		Preis(プライス)	und(ウント)	Ehre(イーレ)	und(ウント)	Kraft(クラフト)						栄光と誉れと力を
192		賛美、価値	そして	名譽	そして	力、能力						
193		denn(デン)	du(ドゥ)	hast(ハスト)	alle(アルレ)	Dinge(ディンゲ)	erschaffen,(エルツァッフェン)					あなたは万物を作られました。
194		そう言うわけで	君	持っているhaben	全ての	物dingのpl	(文)創造する=geschaffen					
195		und(ウント)	durch(ドゥルヒ)	deinen(ダイネン)	Willen(ヴィェレン)	haben(ハーベン)	sie(スイ)	das(ダス)	Wesen(ヴェーゼン)			御旨によって、万物は存在し、
196		そして	通じてthrough	あなた(神)	意思will(ウィル)	持っているhaben	彼らは	定冠詞the	存在、生き物			また造られたのであります。
197		und(ウント)	sind(スイント)	geschaffen(ゲツァッフェン)								
198		そして	である	造られたschaffenのPP								
199	VII 仕事の後の平安として死を歌う	Feierlich			残された者への慰めの思想のもと死の恐怖は少しも描かれていない							
200		荘重な			死の恐怖は憂容のため消え昇天した人々は永遠の憩いへと入る							
201	ヨハネの黙示録14ー13	Selig(ズイーリッヒ)	sind(スイント)	die(デイ)	Toten,(トーテン)							死ぬ人は、幸いである。
202		天の至福に預かる	である	定冠詞the	死人tote	最後の審判を待つ人のこと						
203		die(デイ)	in(イン)	dem(デーム)	Herren(ヘレン)	sterben(シュテルベン)						主に結ばれて(死ぬ)
204		関係代名詞who	に	定冠詞the	主	死ぬ						
205		von(フォン)	nun(ヌン)	an,(アン)								今から後
206		から	やはり、今や	に対して					参考: von jetzt an,von hier an~(今、ここ)から			
207		Ja,(ヤー)	der(デーエル)	Geist(ガイスト)	spricht,(シュプリヒト)							しかり、御霊も言う、
208		然り	定冠詞the	霊、精神	言うsprechen							
209		class(クラス)s	sie(スイ)	ruhen(ルーエン)	von(フォン)	ihrer(イーレ)	Arbeit(アルバイト)					彼らはその労苦を解かれて休み
210		関係代名詞that=da	彼らは	休息するRuhe	の前に・で	彼らの	労苦、仕事					
211		denn(デン)	ihre(イーレ)	Werke(ヴェルケ)	folgen(フォルゲン)	ihnen(イーネン)	nach(ナハ)					その業は彼についていく
212		というのは	彼らの	仕事work	複 続follow	彼らに	〜towardsの後after					(行いは報われる)
213	注記及び参考情報											
214	Morgenregen Abendregen	朝の雨(regen)そして夕の雨、前の雨と後の雨、別訳一秋の雨と春の雨などあり、パレスチナの一年に2度ある雨季のことを指す										
215	Toten	死人tote(最後の審判を待つ人のこと)										
216		死人が死ぬとは一人は地上の生を離れてもそれで終わりではなく最終的には審判を待たなければならないと言うヨハネの思想										
217	ミサとは	もともとは解散という意味-lte,missa estここで食は終わるので解散										
218	Messe(独)Mass(英)	キリストと弟子たちの最後の晩餐を象徴的に再現するキリスト教会の最も重要な典礼、その基本は、キリストの体と血にぞらえパンとぶどう酒を捧げ、神に感謝し、次いでパンを裂き、信者に分かち与えることからなる。楽曲としては、Offertorium(奉唱歌)、Sanctus、Agnus Dei、Communio(聖体拝領唱)が上記の項にそれぞれ対応する										
219	死者のためのミサ	前述のミサとほとんど同じ物です。違っている点はグローリアとクレドが省略されること、固有文(教会の暦によって変わる文Proprium)が死者のためのミサ専用の文句に変わることで、及び通常文(暦によって変わるものない文Ordinarium)の一部に変更が加わることです。固有文の一部がいわば「レクイエム通常」になることで、その部分に音楽が付けられるようになります。有名な「Dies irae(イーレ)」はこのためレクイエムに含まれます。またLaetitia(涙の日)やIn Paradiso(楽園にて)が入ることがあります。ただし、これは時代・地域によって必ずしも一定してはいたわけではありません。そのため、全てのレクイエムがこのような構成になっている保証はありません。またブラームスのドイツ・レクイエムに代表されるように、レクイエムの名を冠してはいますが実は全然別、という音楽も存在します。										
220	11月2日(諸魂日)all souls' day	カソリックでは万霊節 11月1日は諸聖人の為の大祝日=万聖節all saints' day/hollowmas収穫を祝う日、もともと死者の祭りとしてすべての収穫を終えて年の始まりとしたケルトの自然宗教から来たもの、前年の死者が戻ってきて転生し生まれ変わり、生と死が11月1日に交わる。翌日を信仰者の死者のための記念祝日=万霊節をお彼岸のように墓参りする習慣										
221												
222	Sion(Zion(ツィオン))	シオン=聖なる山 エルサレムに隣接する丘、後にエルサレムの呼称となる、また、象徴的に イスラエル、天国、神のいますところを指す場合もある Sionism:ユダヤ人のパレスチナ復帰運動										
223												
224	ドイツ語の発音の注意点	1. 基本的には英語仏語とは異なり原則的に書いてある通り読むのが原則です。しかし、何点か原則に外れているものがありますのでそこだけご注意ください。又合成語の場合減反後の発音が生きていることも										
225	主要点のみ	H,hの発音 母音の後のH,hは発音せず、前の母音を延ばす記号と考えて下さい。例: nahe近い ナーエ gehen行く ゲーエン Kuhクー 雌牛 Uuhrウア時計 例外 da+h daher(ダール)、dahin(ダーヒン)										
226	2.読み方が英語と違うもの	J,j 英語のY,y-jungユング 若い V,v 英語のF,f-Vater77-ター-父(除く外来語Violin) W,w 英語のV,v-wirウアー我々 Z,z 英語のts-Zuckerツッカー砂糖										
227		語末のb,d,gは濁らない 英語のp,t,kの発音となる halbハルブ 半分の, Landラント国, Wegヴェーク道 母音の前の S, s は濁る sindスイントである Iqu kvと発音Qual(クアル)苦しみ										
228		3.その他留意点										
229		語末のhはイヒ ichと同じ発音 seligズイーリヒ tia-通常はツィア但し, t,xの後ではティアとなるhostia, tristia Ch [a+ch ʌ o+ch ʌ u+ch f au+ch ʌ										
230		Sportシュポルト Sternシュテルン、しかし語中でも合成語の場合もauferstehen(フアルシュテーン)。Beispiel(ハインビール) a, o,u,au以外(e,i,ö,ü,子音の後)のchはヒ nicht ニヒト										
231		4. 同じ子音字が2つ重なっている(重子音)ときは、その前の母音を短く読ませるための綴り字の工夫。「ア」とか「エ」のように発音すると、半長音となってしまい、ドイツ語の語感からはずれてしまう。例えばドイツ人の姓でMüllerというのがありますが、Müは短音です。カタカナではミュラーと普通書きます。読むときは時として「ミュラー」と言ってしまうこともあるでしょう。しかしこれでは長音または半長音となってしまいます。ドイツ語の短音の語感をカタカナで書くとしたら「ミュラー」のように、ごく軽い促音をそえて書くのがもっとも近い。但し決して日本語のような促音を入れるということではない										
232												
233	舞台発音	Bühnensprache 歌手や俳優の伝統的なドイツ語発音の規範(詳細は3ヶ所正音歌ドイツ語ハンドブックご参照) der,dem,denのelは狭いeー口語では弱まった曖昧母音der(デー) (r)は単語のどの箇所でも巻き舌で発音するder(デー) wir(ワイ) mutter(ムッテル)←口語では弱まった曖昧母音der(デー) wir(ワイ) mutter(ムッター)										
234												
235	Midi Link	1.SeligSind http://www.geocities.jp/pacifico456/MusicHall-Horn/6173/1.SeligSindDieDaLeidTragen.mid										
236		2.DennAlles http://www.geocities.jp/pacifico456/MusicHall-Horn/6173/2.DennAllesFleischEslstWieGras.mid										
237		3.HerrLehre http://www.geocities.jp/pacifico456/MusicHall-Horn/6173/3.HerrLehreDochMich.mid										
238		4.WieLieblich http://www.geocities.jp/pacifico456/MusicHall-Horn/6173/4.WieLieblichSindDeineWohnungen.mid										
239		5.IhrHabt http://www.geocities.jp/pacifico456/MusicHall-Horn/6173/5.IhrHabtNunTraurigkeit.mid										
240		6.DennWir http://www.geocities.jp/pacifico456/MusicHall-Horn/6173/6.DennWirHabenHierKeineBleibendeStatt.mid										